

## 第2回シティプロモーション推進懇談会 会議録

日 時 令和6年(2024年)4月23日(火)  
午前10時~12時

場 所 八王子市役所 801 会議室

### 出席者

(座長)

合同会社 MACARON 代表 谷 浩明 (たに ひろあき)

(委員)

公募市民 新井 京子 (あらい きょうこ)

公募市民 本目 友理 (ほんめ ゆり)

公益社団法人八王子観光コンベンション協会 MICE 推進課主任  
湯村 亜衣子 (ゆむら あいこ)

特定非営利活動法人八王子市民活動協議会 八王子市市民活動  
支援センター副センター長 濱野 悦博 (はまの えつひろ)

八王子市町会自治会連合会 事務局次長 西田 隆 (にしだ た  
かし)

八王子市商店会連合会副会長 加藤 一詞 (かとう かずのり)

大学コンソーシアム八王子(学生) 八王子学生委員会委員・工  
学院大学情報学部コンピュータ科学科2年 古賀 大幹 (こが だ  
いき)

欠席者 一般社団法人 八王子青年会議所 畠山 貴葉 (はたけやま たかは)  
日本大学 経済学部 教授 大森 寛文 (おおもり ひろふみ)

事務局 今川都市戦略部長  
司会-古関広報プロモーション課長  
前田・増田・丸山・中本・藤原・片山

配布資料 シティプロモーション推進懇談会資料

■ 司会挨拶（古関課長）

挨拶および資料確認、撮影について

■ 委員自己紹介

■ 欠席者案内

■ 事務局紹介

■ 八王子市のシティプロモーションについての説明

広報プロモーション課 前田課長補佐より

■ 質問1 「市からの情報はどんなメディアや方法が受け取りやすいですか」

（谷座長）

4つの質問を用意させてもらった。杉並区の行政としての視点、そして市民としての視点がある。一つ目の質問は「市からの情報はどんなメディアや方法が受け取りやすいですか」。様々な形で発信されていると思うが、皆さんにとってどういった手法だったら受け取りやすいか。市民の顔以外に様々な顔があると思うが、そのあたりも含めて意見をお聞きしたい。

（メディアの特徴の説明スライド47）

（本目委員）

市の情報で一番読んでいるのは広報紙。月に2回に来るが結構分量があり、情報が多い。1回にまとめるほうがいいかもしれないと思いながら読んでいる。その他のイベント等は町会の掲示板を見る。その理由は無くさないから。自分の中で行動変容した経験は、最近で言うとはがき。善光寺の横にあるお店でお酒を購入したことがきっかけだが、セレオ八王子で信州のイベントが開催されたとき、その酒蔵から一週間前にお知らせのはがきが来た。はがきをもらったので、初日に行った。最終日に応援にも行った。

（谷座長）

それはなぜか。

（本目委員）

そのお店でお酒を買ったのはホームページ経由。実際にそこに行くと、酒蔵博物館があって、お土産買って、いい思い出になった。はがきはダイレクトに自分

が指名されている印象を受ける。行動が変わるのは「あなたです」感を出されたからだと思う。

(新井委員)

時間があつた時に広報紙を娘と一緒に見ていた。家族に関係していることがあると目に留まる。「選挙のお手伝い」の記事を見て、履歴書を送る等バイトでは簡略されている部分もあり、いい経験になるのでお勧めしてみた。八王子在住で八王子の大学に行っているの、自分の子どもほど響く子はいないかもしれないが、広報紙のデジタル媒体はあるのか。

(古関課長)

ある。

(新井委員)

気になる記事を切って渡している。デジタル媒体でスクリーンショットができれば手軽である。積極的に知りたい情報は、断捨離の時期はごみ情報など年度や時期で変わる。病院の夜間医療は前日から調べる。そういったものをまとめた「the 八王子」みたいなアプリがあれば便利。予約まではできなくてはいいいけど、医療機関のホームページに飛びたい。ホームページを自分で調べたり、当日の朝電話したりするが、たらいまわしにされた挙句受診できない。こういったアプリがあればくらしの中で安心だと思う。親世代も検索はやらないけど、アプリなら操作できる。アプリを一回入れておけば消えないし、お店行ってこれを見せればいい。

(古賀委員)

学生の立場から言うと、広報紙もあまり読まないし、はがきも親に渡すだけである。ホームページや SNS、動画で情報を貰えるとありがたい。広報を見る動機もない。

(谷座長)

なぜ見ないのか。

(古賀委員)

自分への情報かは疑問がある。皆に関係する情報だが、果たして自分にとって役立つ情報かどうか疑問。

(谷座長)

古賀委員にとってはスマホが便利か。スマホで全部見たいか。

(古賀委員)

そのとおり。紙はあまり見ない。広報紙をホームページにそのまま載っても見ない。情報が詰め込まれすぎているので、学生にあったものだけ絞ってもらえるとありがたい。

(加藤委員)

市の情報発信について、諮問を受けて富山市等いくつか回った時に、市の広報が良くないという批判的な報告書を出した。広報も興味が無ければ見ないし、メールが来ても自分が関係のないものは一切見ない。一番多いのが、ダイレクトはがき。自分のグループでは日本遺産のアプリを導入しており、発信方法を考えているが、どうなのかと悩む。興味があるかないかに絞られる。年代別によっても違うし、広報を隅から隅まで見る方もいれば、見ない方は見ない。

(西田委員)

この質問は町会自治会連合会でも話をするが結論は出ていない。掲示板も見ているという話があったが、町会自治会の掲示板は町会によって差がある。管理しきれてなかったり、上から張っていたりして、雨に打たれて破れたりしている掲示物もある。掲示板を見ているという話を聞いて嬉しかった。

町自連の広報も年4回出していて、内容もここ2年ほど変えている。前例踏襲を変えており、西八王子商店街のクーポンを試験的に付けている。年配の方は興味があるもの一点縛りであり、字が多いものは読まない。年金、固定資産税、住民税非課税世帯などのお金に関するお知らせは見る。一人世帯はお知らせがきてもわからないので、そのままにしている。そこをどうするかは別問題。年配の方は SNS の S をつかっただけでもアレルギー。携帯は通話ができるツールで検索は至難の業。東京都の補助金を使ってパソコン教室もほとんどこない。根強くやっていかないといけない。

地域の中で若い世代と年配の世代で分断が起きていると町会長が泣きついてきた。お金を払うから回覧板を回さないでくれと言われる。どうするかというと紙になるが、紙は町会長から苦情が多い。

ターゲットはどこに焦点を当てるか、次世代のためなら SNS がいい。見ることが難しい世代は、若い世代から情報をもらうようにしたい。そういったツールを作っていくしかない。町自連も大きく方向を変えたほうがいいと思っており、SNS に舵を切りたい。自分たちが見たい記事を見るということだが、学生は就職

コーナー等見出しにして、QR コードで引っ張るという手法もいいかもしれない。

つい先日ファミリーレストランに言ったが、80代の方が paypay で支払っていた。そういった世代が簡単に操作できるものがあればいいのでは。

(浜野委員)

シティプロモーションの方と同じような課題が、八王子市市民活動協議会にもある。仕事の多くは市から受託した市民活動支援センターで講座やイベントをたくさんやっている。告知や集客を考えている立場からお話しさせていただく。

(谷座長)

市の立場に近いか。

(浜野委員)

そのとおり。市の代行業務である。

どうしたら市民にわかってもらえるかを常々考えている。大雑把に2つある。ごみの情報等の必要な情報、そしてシビックプライドや愛着を持ってもらう情報(イベント・日本遺産等)がある。シティプロモーションは后者であり、愛着を持ってもらうことが主だと思う。ある年代の方は民間や自分のことに興味があり、市の取組に関心がない気がする。まず大切なのはホームページで、次にSNS。こういった市民活動団体支援の立場で話すと、昔(20年以上前)は広報の影響力が大きかったが、今はかなり小さい。他の媒体があり、独自の広報もある。自分たちも広報紙に出すという意識が薄れている。3,000部刷っていて、2か月1回発行していたが、去年ぐらいから登録団体に「紙かデジタルか」という質問をしたが、新規団体はデジタルを選ぶ。

(谷座長)

浜野委員が市民として受け取るメディアはどれがいいか。

(浜野委員)

SNSで誘導されるホームページがいい。ただしSNSは単なる情報発信ツールではないため、組織が発信したものは商売のようで受けが悪い。中の人を思いを文章化して発信したほうが支持をうける。例えば課長がお仕事日記としてSNSで発信したらファンが増えてくるのではないか。これが今どきの発信の流れ。他の市でもそういったことをやっている人が居る。

(湯村委員)

私は、Yahoo!でエリア登録しているのでメディアが発信した地域のニュースを意図せず受け取り、知ることが多い。最近では、八王子出身のボクシング選手の活躍なども初めて知った。仕事上の側面では、MICE といわれる学会・シンポジウム等の誘致を担当している。外から八王子に人を呼び込み交流人口を増やすことで、市内での経済をはじめとした様々な効果をもたらすと言われている。

実は、約3年後にこれまで東京ビックサイトやパシフィコ横浜などで行われてきた7,000名規模の大型案件も、市内複数の会場での開催が決定している。このようなものを戦略的なプレスリリースで発信していくと、「なぜその期間に街に人が多いの?」ということもそうだが、国際会議では世界中の研究者が集まり、地球規模の環境についての議論や特定分野の世界基準が決定されることもあるので、このような世界的に見ても重要な会議が、地元八王子で開催されると市民が知ることはシビックプライドにもつながるものだと考えている。

また、プレスリリースでニュースとして発信されると、そこから更にSNS等で情報が拡散される効果もあると考える。

(谷座長)

市の情報が様々なメディアで取り上げられることが効果的なのではということか。では市民の立場としてはどうか。

(湯村委員)

市民としてもニュースから意図せず受け取ることが多い。

■質問2「情報過多な時代、市から受け取る情報は、どんな内容なら見ようと思いますか」

(湯村委員)

自分の生活に直結するもの。ヤフーニュースではないが、興味を引く見出し。

(谷座長)

僕も八王子市からしたら関係人口だが、八王子市だと押してしまう。

(浜野委員)

相談や問合せ業務は一定以上ある。全課にzoomを配置して、遠隔で問合せできるようにするのはどうか。メタバースなどバーチャルで行けるようなもの。個

別対応の情報のやり取りが全課にあればいいと思う。

(谷座長)

どんな内容だったらみるのか。

(浜野委員)

双方向性の情報のやりとりを前提とした個別の課の取組内容。

(西田委員)

税金や手続きの周知(こういう手続き忘れていませんか)等自分の生活に直結するもの。家・土地の管理に関するお知らせは難しすぎて、市からの通知が来てはじめて慌てる。公の立場での重要な情報はお金関係に絞り、それ以外は民間の力を使ったほうがいいのでは。例えばイベントなど。

(加藤委員)

自分に有益・興味があるものに絞られて、それ以外は見ない。補助金情報や自分が一番困っていること。それ以外は頭だけ見て終わる。

(古賀委員)

いっぱい情報が来る社会なので、最低限の情報が欲しい。埋もれず選択できる仕組みほしい。

(新井委員)

困ったことがあると探しに行く。困っていることがなく、印象を受けた出来事をお話しする。テレビを見ることが多いが、GWが近いからかランキングをやっている番組が多い。それにまつわるイベントを目にする。都道府県対都道府県の番組が好き。転勤をしてきたので、八王子というワードに反応して盛り上がる。東京都の中であんなに盛り上がるのは八王子だけではないか。面白いだけではなく、イベントの周知もたまに紛れていて、うまいと感じる。いやらしい宣伝ではなく。匂わず程度である。八王子はその魅力が結構あるのでは。

(本目委員)

必要情報と愛着情報は別という意見に納得。そこで行動が変わる。必要情報は何が何でも調べるはず。高尾山の頂上は何メートルかという情報は、ネタとして話したほうがいいのか雑談なのか受け手側のモチベーションによって変わってくる。愛着を持たすために、ランキングで八王子の名前が出てきたら嬉しい。

Youtube だと見出ししか見ない。限られた見出しで、競っているが、行政だと難しいか。全員ターゲットが足かせになっているが、浜松や宇都宮や餃子合戦やっているように見えるが、みんなのなかに刷り込むことは成功している。何に向けて市民が頑張っていけばよくわからないから、「八王子だと〇〇」だと、市民としてはわかりやすい。

(谷座長)

自分の興味があるということに尽きる。解説が 49 ページになる。自分ゴト化して当事者意識を持ってもらいたい。最近ゲリラ豪雨が多いため、台風と水害、災害が皆さんの行動を変えやすいタイミングだと思っていたので書いている。いやみのない宣伝はタイミングが大事である。広報紙のタイトルしか見ないという意見があったが、そう思う。行政が頑張っていかななくてはならないのがこの部分。この一文でどう行動につなげるのかが大事、全庁的にやっていくことが必要。

■質問 3 「広報紙を電子化することについてどのような形がうれしいですか」

(谷座長)

質問 3 は広報紙がテーマ。広報紙はまだまだ影響力が大きく、行政として説明責任があるので発行をやめることができない。今後はこのかたちがどうなるか考えていかななくてはならない。10 年以上は止められないが、手法として電子化が考えられる。今後準備をしていく必要がある。電子化になった場合、どのようなかたちが嬉しいか。

(51 ページの説明)

(本目委員)

電子化したら日常の何割を何に使うか話すと、ほとんど youtube を見ている。ショート動画も流れてくるが、暇があればいくつも見る。しかも全部見るのではなく 2～3 秒程度で流していく。ホームページを端から端まで見ない。目につくものや興味を引くテーマがあり、そのジャンルに関係するものだと、見れば見るほどおすすめされて特化されていく。広報紙が伝えたいことと電子化の特徴がっているのか。あっていれば電子化はいいと思うが、どのへんのレベル感を狙っていくか。

(谷座長)

それはこれから考えていく必要があり、全国の自治体が手付かずである。紙が無くなった場合、どうするか考える必要がある。



(本目委員)

紙が無くなったら、次は yahoo!ニュースのようにジャンルが分かれてトピックスにするか。私はトピックスを見に行くより検索してページを引っ張る方が多い。森羅万象について知りたいことだと新聞を読んでいる。プッシュ通知はいい機能では。桑都ペイのアプリのプッシュ通知は結構見る。

(新井委員)

両方と思う。紙だと無駄という視点だと、必要のない方は断る制度があってもいい。捨てる側にもストレスがある。

(谷座長)

確かに選択させるのはいいかもしれない。

(新井委員)

小学校中学校は紙が無くて、アプリを入れてくださいと入学のタイミングで言われた。入れないと困る。大事な連絡もくる。都立高校はここでやりはじめたが、全員アプリ入れたら開始するとのことだった。母数が決まっているがことだが、市全体で実施するのは難しく、ハイブリッドだと思う。デジタルは便利であり、どこにいても見ることができる。

(谷座長)

その人のライフスタイルで選んでもらえばいい。

(古賀委員)

紙を読まないのでも電子化してほしいと思うが、広報紙がそのまま載っても読まない。目次があり、気になるものをクリックしてみる。動画で市役所の人が1分程度で目玉ニュースを読み上げる等。業務量は増えると思うが嬉しい。

(加藤委員)

受け取る側の立場として、電子化は進めてもいいが、オンラインニュースのようにタイトルだけ載せる。媒体にあわせた作り方をしてもらえるとありがたい。

(西田委員)

見出しがあって、興味がある人はそこから記事に飛ぶようにしたい。SNS の使えない世代はどうするのかという意見は必ず出る。見れる人が見られない人を

教える方法以外に、電子媒体のほかにテレビを活用したらどうか。ジェイコムネットを使って、必要な情報をそこから見るとしたらどうか。SNSで怖いのが、年配者が騙されること。フィッシング詐欺につながるので、テレビを活用した情報の伝え方もありなのでは。ジェイコムは市が出資したチャンネルなので、活用したらどうか。

(浜野委員)

このままでもいい（広報紙は紙媒体のままでいい）と思っている。今利用している世代が亡くなって、総量が減っていく。それに割く人員やページ量を減ることになる。広報紙を電子化するのではなく、ホームページを改良したほうがいいのではないか。ホームページでは、AIをつかったチャットボットなどがトレンドになるのでは。

(湯村委員)

アプリだと嬉しい。今まで広報紙をなくした自治体はあるか。

(谷座長)

武雄市はトップダウンで広報紙をなくし、Facebookで配信した。今は元に戻っている。

(古関課長)

10年前の話だが、金沢市だと地元の新聞を読んでいる方が多かったので、そこに市の情報を載せていたと聞いている。

(湯村委員)

八王子市は中核市でごみが少ないとあるし、広報紙を電子化したらカッコいいと思った。必要な情報にリーチできるし、属性や興味をアプリで登録してその情報がくるのがいいのでは。お得な情報だと市民も一生懸命やる。費用対効果で考える必要があるが、インセンティブ（アプリをDLしたら住民税を引く等）をつける方法もあるのでは。いつもお得な情報や楽しい情報を得ることがあれば親しみが出るのでは。

(谷座長)

アプリをDLさせるのが難しい。目黒区はワクチン接種の件で、LINE限定にしたのでDL率が向上した。難しいアプリだと開発費もかかる。浜野委員がおっしゃったホームページの充実がいいのでは。

■質問4 「あなたは八王子の魅力を発信したことがありますか。」

(湯村委員)

仕事では発信している。仕事じゃなかったら高尾山等の自然・アウトドアの関係が個人的には八王子の自慢だと思っている。

(浜野委員)

自分はお祭り男といわれていて、撮影が好き。八王子まつりで、去年は1時間ライブ (Facebook 動画) をやったが、アクセス数が物凄く増えた。

(谷座長)

なぜライブをやろうと思ったのか。

(浜野委員)

勤務者としての誇りがある。子安神社のお神輿や熱気、るつぼと化している何かがある。言葉にできない、人間が体から出るエネルギーや思いを感じる。エネルギーが強すぎて喧嘩沙汰になっていることもあるが、そういったものを映すことの喜びがある。

(谷座長)

言葉に表せない何か、まさにシビックプライドなのか。

(浜野委員)

コンサートに行く喜びであってCDを聴くことでは得られるものではない。それが八王子では実現できている。魅力はかなりあるはず、高尾山、お祭り、たくさん名物がある。八王子ラーメン、八王子ナポリタン、パンカツなど何かをクリエイティブに出すエネルギーがある。ただ分断されている感があり、山梨の一つの地方都市であり、求心力がある。中央線で来ると山があり城下町がある。杉並は地続きの関東平野であり、23区で考えるところがあるが、八王子は独立している印象を受ける。

(西田委員)

いろんな専門と話していると、コンセプトがはっきりしている情報だと発信できる。だれがどう発信するものなのか。自分が感じているものが、他の人にとって魅力が分からない。八王子の魅力は山があって自然があるといわれるが、住んでいる人からすると、世間が言っているイメージが違っていると聞く。

(加藤委員)

発信している方だと思う。ただ、情報は偏っている。食べ物に関しては、おいしくないところは発信しないし、観光振興じゃないが、映像を上げたりしている。少子化が気になっており、八日町に住んでいるがマンション群である。そこで生まれ育った子供が大人になっても住んでもらえるイベントの発信はずっと続けている。

(谷座長)

地方都市でもクリエイターがそこに移住すると、クリエイターが集まっている。そして面白いことをしだす事例を見てきた。杉並区はネパール人が多いので、集まってきてコミュニティが活性化する。加藤委員が言っていたのはそれに近い。素晴らしい活動だと思う。

(古賀委員)

発信はしていない。理由を考えてみると魅力の情報がリーチされていないからだと思う。町田市から八王子の大学に通っている。八王子の魅力を八王子に住んでいる同学年に聞いてみると、なんだろうという答えである。情報が溢れすぎているからだと思うが、魅力があれば発信者にもなるし、同じ志をもったひとが集まって、拡散していくと思う。

(谷座長)

学生はまちに学びに来ているため目的が違う。ここに住めば視点も変わると思う。

(新井委員)

主婦なので発信するとなると、今の時代 SNS になる。仕事柄、SNS では発信していないようにしている。魅力を伝えることをしていない。ただ、地元や大学時代の友人、東京都から離れている人に、地元のお店に行ったりしていて、楽しそうにしていると住みやすそうな町だと伝わると思う。

(本目委員)

今は発信していないが、10 年くらい前はブロガーだった。いまは物騒な世の中なので、特定される危険性もある。当時はブログもあったし、アクセス数も増えたし友達もできた。杉並区に住んでいたが、地域の情報を上げたかというところあげなかったと思う。個人が情報上げることのリスクがあるけど、コミュニティが

あって、チャンネルがたくさんあり匿名で書き込めるならやる気ある。発信することへのリスクはあると思っている人は多いのではないか。それを民の力として活用できないか、資源が眠っていると感じる。

#### ■職員からの質問

(中本主任)

八王子のことを知らない大切な友人をおもてなしするならどこに連れていきますか。

(湯村委員)

高尾山に連れて行って、お食事をしておもてなししたい。温泉もある。

(浜野委員)

ユーロードである。ミニ新宿的な、新宿の良かった時代の良さがある。

(西田委員)

その人の好みに合わせる。大切な友人が自然を好きだったら、その時期の一番好きな場所に連れていく。混むところが嫌いなのにGWの高尾山には連れていけない。

(加藤委員)

多摩五稜に連れて行って、街中のご飯に食べに行く。

(古賀委員)

駅前の商店街を散歩して、その人の趣味にあわせて店にはいる。

(新井委員)

どの世代によるが、子どもの七五三の時はいか亭で義理の両親をもてなした。小比企町の磯沼牧場の隣のレストランは喜ばれた。磯沼ファームと提携されているので八王子の地盤だし、おしゃれ。テラスがあり、ただ犬の散歩をする人もいるし、いろんな世代がいる。駐車場も広い。

(本目委員)

友達を連れていくなら高尾山。今だと、コーヒーのパペルブルグに連れていく。ドラマ「花咲舞が黙っていない」で、パペルブルグがとりあげられていた。この

店への熱があがっているので、ドラマとどれだけリンクしているか確認するためそこに連れていく。

(谷座長)

聖地巡礼やロケーション誘致につながるものが頻繁に出るといい。

■事務局からのお知らせ

◆都市戦略部長挨拶

4月の人事異動で都市戦略部長に着任した今川邦弘です。どうぞよろしくお願いたします。本懇談会は、ブランドメッセージ「あなたのみちをあるけるまち」を活用して、八王子の魅力を発信していきたい。そういった取組から新たな基本戦略を策定していく。

磯沼ファームは自分の散歩コースになっている。八王子がいいところがたくさんあって、その魅力の情報発信をしていけたらと思っています。皆様の忌憚ない意見を受けて作っていきたい。

◆災害補償に係る傷害保険等について

◆口座振替依頼書について

◆次回の日程について

11：57 閉会